

## 平成21年度第1回 産業応用部門論文委員会主査会議議事録（案）

1. 日時 平成21年3月31日（火） 10：30－12：00
2. 場所 電気学会第3会議室
3. 出席者(敬称略)  
林（青山学院大学），大石（編修長，長岡技術科学大学），村上（編修長補佐，慶応大学），藤崎（D1副主査，新日本製鐵、記録），大山（東京工科大学），織田（D2主査，パナソニック），山崎（ゲストエディタ，千葉工業大学），松岡（D3主査，東芝），高瀬（D3副主査，摂南大学），松井（東京工芸大学）
4. 提出資料  
21-1-0 議題票（藤崎代）  
21-1-1 前回議事録（案）（藤崎代）  
21-1-2 H21Fy委員会名簿（藤崎代）  
21-1-3 H21Fy論文委員会改正案（藤崎代）  
21-1-4 電子査読システムの運用状況(大石)  
21-1-5 「回転機技術特集号」論文投稿・査読状況（山崎）  
21-1-6 「モーションコントロール、計測・センサ応用全般」特集(大石)  
21-1-7 共通英文誌企画案（松岡）  
21-1-8 カクタスが（社）電気学会 産業応用部門の英文校正をサポート（林）
5. 議事
  - 5.1 前回議事録の確認（資料21-1-1）
    - ・ 議事録については特に問題なく、承認された。
  - 5.2 委員会名簿
    - ・ 各委員会の名簿に、電気学会事務局からもう一人追加し、2名体制にすることになった。
    - ・ 前回の産業応用部門大会の論文委員意見交換会での議事録をHPに掲載することになった。
  - 5.3 査読状況
    - ・ おおよそ、D1：100、D2：70、D3：50、計220件の論文を電子システムで受け付けている。
    - ・ 国際会議での査読状況を利用するなどして、海外の査読者を増やすことになった。
    - ・ 「運用状況」の表の中に、海外からの投稿数がわかるように、内数括弧内等で記載することになった。
  - 5.4 「回転機技術特集号」論文投稿・査読状況
    - ・ 遅れて投稿された2件はあるものの、掲載決定の論文数が4件なので、特集号として成立することになった。
  - 5.5 「モーションコントロール、計測・センサ応用全般」特集
    - ・ 同上の報告がなされ、了承された。

#### 5.6 共通英文誌企画案

- ・ 日本の技術の紹介であるので、特集名の最後に、” in Japan” を記載することになった。
- ・ 電気技術だけではなく、流体力学からの車両設計など機械分野等も含めた省エネ技術も紹介したほうがよいとの意見が出た。これをうけ、(1)の執筆者にその旨連絡することになった。

#### 5.7 カクタスが（社）電気学会 産業応用部門の英文校正をサポート

- ・ 表現を一部修正、追記することで、カクタス社が記事を掲載することは了承された。
- ・ Native Checkの費用発生元について確認することになった。

#### 6. その他

- ・ 120日で再受付リストから削除する運用については、他部門同様に、90日にて再受付リストから原則として削除することになった。
- ・ 電子査読システムになって、他の幹事の査読者選定・状況がわかりにくくなっているのので、理解できるように処理状況をpdf化して、論文幹事に送付することになった（編集長補佐）。
- ・ D1の論文数が多いことから、論文委員の数を増やすことになった。

#### 7. 次回開催予定

- ・ 6月2日（火）14：30から

以上